

# 労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2014年8月27日 第9号

---

## ▲△1：沢の渡渉には十分慎重に 豪雨による事故で労山会員2名が死亡

---

今年の夏、関東地方以外では天候が不順で、各地で災害が発生しました。特に、8月20日に発生した広島市の土砂災害は痛ましい人命の損失と甚大な被害をもたらしました。

登山の分野でも8月16（土）～17日（日）には各地で遭難が発生し、残念ながら、労山会員2名が死亡しました。この時、発生した遭難で、労山会員がかかわっていたのは、次の事故です。無事救出された件もふくめ、よく総括して、今後に活かすことが求められています。

- ① 槍ヶ岳下山中、16日に滝谷出合い付近で3人が増水した川に流され、死亡。うち2名が労山会員。

死亡した3人のうち、2人は広島県連の男性（62歳、67歳）でした。2人は16日午前11時50分頃、槍平から滝谷の間の沢を渡渉のため、兩岸でロープを張り、他パーティーの登山者を渡す手助けをされていて、ともに流されてしまったものです。「2人とも他の登山者が困っていれば放っておかず、率先して担いでいくような親切な人だった」（所属会会長の話－毎日新聞）。ご冥福をお祈りします。

- ② 北アルプス・赤木沢で2人（男性67、女性65）が行動不能となり、ヘリでピックアップされる。

京都府連盟所属会の3人パーティーで14日、入山。15日赤木沢の大滝付近で、増水のため2名が左岸に、1名が右岸に分かれてしまいました。1名は稜線まで登り、太郎平小屋に到着しましたが、他の2名が来ないため、府連盟と警察に救助要請。天候回復を待って、17日にヘリが飛び、ツェルトを張って避難していた2人を無事救出。

- ③ 宮城県「仙台カゴ」で、2人が行動不能となり、ヘリでピックアップされる。

14日、宮城県連所属の2名（男性56、女性62）が宮城県の岩山「仙台カゴ」（1270m）に沢登りで入山。翌15日朝、下山しようとしたが、女性の両目まぶたが虫に刺されて腫れあがり、林道にテントを張って救助を待ちました。18日にヘリコプターで救出。

#### ④ 北アルプス黒部五郎岳・双六谷

黒部五郎岳（2840メートル）では、沢登りに入山した東京都連盟所属会の男性2人（57、50）が下山予定の16日を過ぎても戻らず、警察に救助依頼。18日午後、ヘリが同岳南側の金木戸川付近で2人を発見、救助されました。けがはなく、川の増水で動けなくなったとのこと。

※この他に、東京都連盟の別の会でも黒部峡谷に入山した7人パーティーの下山遅れがありました。このため、当該会から警察に救助要請が出され、ヘリでの捜索により一行の無事が確認されましたが、当人たちは自力で下山しました。

新聞記事を別ファイルで添付しています。参照してください。

---

### ▲△2： 労山・花村副理事長がアメリカ山岳会行事に招かれ 日本の登山界を代表して報告

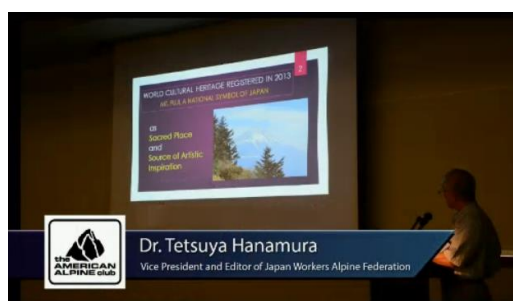
---



アメリカ山岳会（American Alpine Club）が主催する国際会議＝「SUSTAINABLE SUMMITS CONFERENCE」（「環境に配慮した登山」国際会議）が7月20～23日に米国コロラド州ゴールデン市の米国登山センターで開かれ、労山の花村副理事長が日本の登山団体を代表して富士山の現状について英語で報告しました。

この会議は、山岳環境問題を国際的に討論するために開かれたもので、米国参加者が4日間で約100人、外国からは、アジアではネパール、パキスタン、イラン、日本、ヨーロッパからフランス、オランダ、オーストリア、スウェーデン、アメリカ大陸からカナダ、ペルー、アルゼンチン、ボリビア、アフリカからタンザニアの計13か国25人の、合計120人超が参加しました。日本からは4名の参加で、他に、富士山須走登山道の山小屋「太陽館」の経営者・関さんと関係者が参加していました。

この会議にあたり、アメリカ側から日本の登山団体に「富士山問題」での発表が要請され、山岳7団体環境連絡会の協議をへて、花



講演する花村副理事長 説明書には **Dr. Hanamura** の文字が…花村副理事長はドクター（医者ではなく工学博士）なのです。

村副理事長が代表して出席したものの。旅費、滞在費はすべてAAC持ちです。発表では、富士山の環境と管理のあり方を報告しましたが、出席者からは膨大な登山者の安全性をどう確保するのか、ごみとトイレの問題をどう管理しているのか、などに関心が寄せられました。

会議では、多くの環境問題が発表、討論されました。山からゴミを無くす運動や、気候変動による氷河後退も論じられましたが、最大の関心はトイレ問題で、アラスカ・マッキンリーではクリーンマウンテンカン（CMC）と呼ぶ高さ30cm、直径20cmの硬質ポリエチレン製のカン携帯が義務付けられ、下山後に重さを計量し、糞尿を全部持ち帰ったか判定されるのだそうです。

労山も長年、クリーンハイクに取り組んできましたが、視野を世界規模に広げる必要があります。

---

### ▲△3：アジア山岳連盟（UAAA）創立20周年記念 「広島山岳平和祭」に参加しよう

---

今年は労山も加盟する「アジア山岳連盟」創立20周年の記念の年。その定期総会と20周年記念行事と、その関連行事が「広島山岳平和祭」の名で、「日本山岳協会」主催、「日本勤労者山岳連盟」共催により、11月に広島で開催されます。一連の行事のうち、11月23日（日）午後に開催される記念行事「UAAAセレモニー 各国の登山活動発表」は、担当が労山で、広島市のアステールプラザ中ホール（定員520名）で行われ、広く参加がよびかけられています。労山中国ブロックなど近隣地方連盟の皆さんを中心に、ぜひ多数、ご参加ください。

11月23日（日）13：00～16：00 アステールプラザ中ホール

広島市中区加古町4-17

JR広島駅から広島バス 24番路線（吉島営業所行／吉島病院行）加古町下車（200m）

※資料代1000円の予定です。

#### ●「広島山岳平和祭」の主な日程

11/22（土） 午後 各団体別集会（労山は開催せず）

18：30～20：30 UAAA合同夕食会（広島文化交流会館）

11/23（日） 9：00～11：00 平和祈願祭（平和記念公園）

13：00～16：00 記念行事（UAAAセレモニー 各国の登山活動発表）

アステールプラザ中ホール

18:30～21:30 UAAA創立20周年・「山の日」制定記念全国登山者集会  
(リーガロイヤルホテル)

11/24 (月・祝) 7:00～16:00 弥山登山・巖島神社見学

17:30～21:00 デイナー・クルーズ

11/25 (火) 9:00～16:00 UAAA総会 (アステールプラザ大会議室)

18:30～21:00 さよならパーティー (広島文化交流センター)

---

#### ▲△4: 第17回自然保護講座 11月に東京・日原の天祖山で

---

全国連盟・自然保護委員会は、10月11～12日に静岡県で「第17回全国登山者自然保護集会」を予定していますが、それに引き続いて、11月に第17回自然保護講座を東京・奥多摩の日原で開催します(主管は東京都連盟)。

テーマは、天祖山(てんそざん)の石灰石採掘問題。この問題は、1972～73年に東京都連盟を中心に取組み、度重ねた対都交渉で一定の成果はあげましたが、「他に適当な過疎対策がない」として採掘許可がだされたものです。しかし、こうした運動の積み重ねのなかから、1974年の全国連盟自然保護委員会設置と全国一斉清掃登山(クリーンハイク)の開始へと発展していきました。



削り取られ続ける天祖山

この天祖山問題の歴史と、現状を学び、天祖山に自生するブナのすばらしさを実地に見る講座です。ぜひ多数、ご参加ください。

○日時 11月8日(土)13:00～9日(日)

○場所 東京都奥多摩町 日原(にっぱら) やすら樹の宿「ねねんぼう」

○日程 (8日)

「天祖山の石灰石採掘の歴史と反対運動」(仮題)

講師=鈴木貫太(元 労山副理事長=当時の運動で活躍)

目で見る天祖山の石灰石採掘現場の現状(映写と解説)

(9日)

ブナの大木に会う山行、石灰石採掘現場観察(どちらかを選択)

○宿泊費 約9000円

○申込 全国連盟自然保護委員会へ